

大学等名	横浜市立大学（理学部）
教育プログラム名	データサイエンス人材育成プログラム（理学部）

申請レベル	応用基礎レベル（学部・学科等単位）
申請年度	令和8年度

取組概要



プログラムの目的

- ① リテラシーレベルの教育内容を補完・発展させ、データから意味を抽出し、研究・現場へフィードバックする能力や、AIを活用して課題解決につなげる基礎的実践能力を修得すること。
- ② 自身の専門分野において、数理・データサイエンス・AIの応用・活用を構想できる視点を獲得すること。

開講科目と修了要件

科目区分	要件	科目名
【基盤科目】	必修 (6単位)	総合講義(データサイエンス入門) 情報リテラシー 基礎物理学実験 生命情報科学
【展開科目】 基礎科学講義 (数学分野)	選択必修 (4単位以上)	行列とベクトル 行列とベクトル演習 微分と積分 微分と積分演習 統計と確率
【展開科目】 情報関連基礎 科目	選択必修 (1単位以上)	プログラミングA プログラミングC
【展開科目】 専門科目	選択必修 (4単位以上、 1科目は数学)	自然科学実験Ⅰa、自然科学実験Ⅱc、生命科学実験 【数学】 自然科学数学A、自然科学数学C、自然科学数学D

実施体制

本プログラムの目的を達成するために、理学部教授会内の委員会として、「**データサイエンス人材育成プログラム（理学部）管理部会**」を設置し、**履修者数や修了者数を向上するための取組**やプログラムの**改善・進化に向けた取組**を推進する。

なお、本プログラムの履修者数・修了者数を向上するための具体的な取り組みとしては、次の事項が挙げられる。

- ・ 令和7年度以降の入学生は、原則として**本プログラムに全員参加**することとし、令和10年度までに**履修率100%**を目指す。
- ・ 必修科目の生命情報科学については、**並行科目を設置**することで、**多くの学生が履修できるような工夫**を行う。
- ・ 毎年4月に学年ごとに実施する新入生・在校生**オリエンテーション**において、**本プログラムの周知**及び修了に必要な科目についての**履修指導**を徹底する。
- ・ 修了者に、学生による投票結果を反映させたデザインの**デジタル学修証明（オープンバッジ）**を発行し、**修了のインセンティブ**を付与する。



身につけられる能力

以上の実施体制により、本プログラムの学修成果から**修得が期待できる能力**は次の通りである。

- ・ **各専門分野へ応用できる数理・データサイエンス・AIの素養**
- ・ **数理・データサイエンス・AIを活用し、社会における様々な課題を解決する能力**